

地方創生推進交付金 令和3年度活用実績

【資料4-1】

【推進交付金(単独)】

(単位:円)

番号	課名	事業名	事業概要	決算額	交付金充当	一般財源	事業 開始年月	事業 完了年月	資料6 ページ	備 考
総合戦略 基本目標① 安定した雇用を創出する										
1	まちの 活性化課	エリアマネジメント 活動推進事業 (H31開始)	<p>中心市街地(南海泉佐野駅周辺)のエリアマネジメントに取り組むまちづくり会社を設立して下記の実施し、中心市街地の活性化につなげていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中心市街地周辺の商店街や地権者等関係者と連携して中心市街地内の活性化に取り組むための機運づくりを高めるワークショップの開催 ●中心市街地のブランディング化及びプロモーション活動を通じた中心市街地のエリアマネジメントを推進して活性化につなげていき、空き店舗の解消と女性等の社会進出を支援するため、働き方改革の推進している事業所の誘致 ●働き方改革を推進していくため、日本SDGsモデルの構築に向けた働き方改革を推進するためのセミナー等の開催や、テレワークセンターを設置 ●子育てや介護で家にいることを余儀なくされている人たちの社会進出を促し、また起業支援を通じて中心市街地付近での開業支援 ●中心市街地の商店街等の消費喚起の支援、マーケティングデータを活用した商店街店舗の販路拡大の支援や中心市街地への企業誘致 	72,292,000	35,725,742	36,566,258	R3.4	R4.3	P4	令和3年度 当初予算
2	まちの 活性化課	外国人受入環境 整備事業 (R2開始)	<ul style="list-style-type: none"> ●市内在住の外国人に対する日常生活等のサポート(相談窓口のワンストップ化、トラブル解決あっせん等) ●企業と外国人材との雇用マッチング ●外国人就労者の労働環境の整備に向けたメンター派遣 ●外国人材の居住・日本語学校等の日常生活に直結した支援 ●多文化共生社会実現に向けた交流支援 ●企業側が求める日本語やスキルのレベルを引き上げる研修支援 	27,482,000	9,848,635	17,633,365	R3.4	R4.3	P7	令和3年度 当初予算

総合戦略 基本目標② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる

3	まちの 活性化課	関空立国デスティ ネーション化推進 事業 (H31開始)	<p>本市が関空利用者の目的地(Destination)化となるために下記の事業等に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コト消費の拡大つなげる日本伝統芸能を核とした新たな文化を提供する施設の設置 ●LCC利用者も多い関空において消費効果を上げるため、夜間の時間帯の消費喚起につなげるナイトタイムエコノミー等による、インバウンド客の満足度の向上化 ●インバウンド客の利便性の向上を図るためのキャッシュレス化の推進と、防災の観点も含めた言葉のバリアフリー化を推進することによる安心・満足度の向上 ●2027年にオープン予定の大型MICE施設の利用促進につなげるため、MICEやアフターコンベンション等に利用されるによるユニークベニューコンテツツの磨き上げによる目的地(Destination)化 ●泉佐野市が目的地(Destination)化となるだけでなく、観光ハブとなるため、また連携している近隣・地方都市のそれぞれの地域の食材を通じて、それぞれの地域が持つ自然や歴史等の魅力に触れることで各地域の再訪・訪日意欲の高揚を図るためのガストロノミーツーリズム ●本交付金対象事業終了後も持続した効果を維持するため、グローバル的な発想を持った地域のけん引役となる人材の確保と育成 	185,218,000	83,387,690	101,830,310	R3.4	R4.3	P11	令和3年度 当初予算
4	まちの 活性化課 他	新たな生活様式 推進事業 (R3開始)	<ul style="list-style-type: none"> ●創業・企業を含む産業の総合的・包括的な支援窓口を設置するための拠点整備 ●首都圏等からの新たな生活様式として、サテライトオフィスやテレワークを行う施設設置の支援、及び集約型サテライトオフィス利用者間の異業種交流等を通じて、ビジネスマッチングの支援等の実施 ●首都圏等からの研修等のインセンティブ旅行や、ワーケーションとしてのコンテツツ及びメニュー開発、ツーリズム造成などの実施及び販売拠点の整備 ●首都圏等からの企業からの移住・移転のワンストップ相談窓口の設置や、企業へのプロモーションイベントの実施 	0	0	0	R3.4	R4.3	P16	令和3年度 当初予算
合 計(A)				284,992,000	128,962,067	156,029,933				

地方創生推進交付金 令和3年度活用実績

【推進交付金(広域)】

(単位:円)

番号	課名	事業名	事業概要	決算額	交付金充当	一般財源	事業 開始年月	事業 完了年月	資料6 ページ	備 考
総合戦略 基本目標② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる										
5	まちの 活性課 他	KIX泉州ツーリズム ビューロー事業 (H30開始)	泉州地域の9市4町の自治体が単独で地域資源の有効活用を図るのではなく、地域連携DMOが地域の観光振興の司令塔となり、客観的事実にもとづいたインバウンド戦略を策定・推進する。そして、「泉州地域ならではの価値」として磨き上げてブランディング化し、インバウンド客に対して、「泉州」の認知度向上、セカンド・デスティネーションへの促し、体験型観光をプロモーションしていくことで観光客数の増加および地域経済の活性化を図る。	6,644,000 *(85,440,000)	3,322,000 *(42,720,000)	3,322,000 *(42,720,000)	R3.4	R4.3	P10	令和3年度 当初予算
6	まちの 活性課 他	「恋人の聖地」観 光誘客連携による 地域活性化事業 (R2開始)	<ul style="list-style-type: none"> ●旅行者と各地域の観光サービスを直接結び付け、情報共有のためのプラットフォームの整備や、協力事業者拠点登録事業者を開拓し、集客するための情報の登録を促し、当該プラットフォームから得られたデータを基に、観光サービスの向上やプラットフォームの機能の拡充等を行う ●モニュメント設置といった恋人の聖地そのものの魅力を向上させるとともに、協力事業者拠点登録事業者らとともに、聖地の周辺に点在する店舗、特産品、グルメ、宿泊、施設、観光スポット、各種イベント等などの固有の資源を恋人の聖地ブランドと結び付けた新たな旅行プランなど商品・サービスの開発を行う ●旅行者やメディア等に対し、恋人の聖地派生ブランド等のプロモーションを行い、プラットフォームへの新規登録を促すとともに、「旅ナカ」(旅行者データ収集と現地情報提供)から「旅アト」(来訪情報の拡散とリピート・広域回遊促進)に、更には次の「旅マエ」(来訪促進)につなげ、新規顧客を獲得できるよう、旅行者自らがその体験をSNS等で配信するよう促す 	23,914,000	5,157,000	18,757,000	R3.4	R4.3	P12	令和3年度 当初予算
合 計(B)				30,558,000	8,479,000	22,079,000				
総合計【(A)単独+(B)広域】				315,550,000	137,441,067	178,108,933				